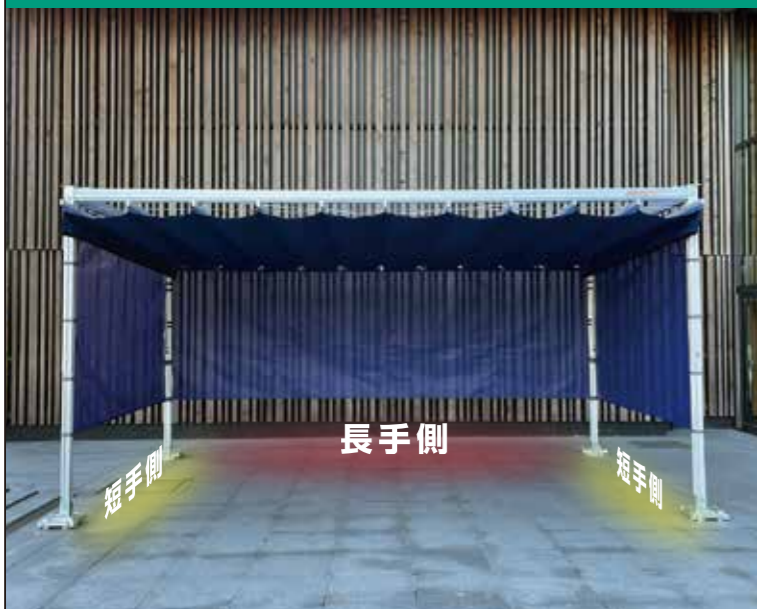


横幕 (オプション品) の取付



長手側



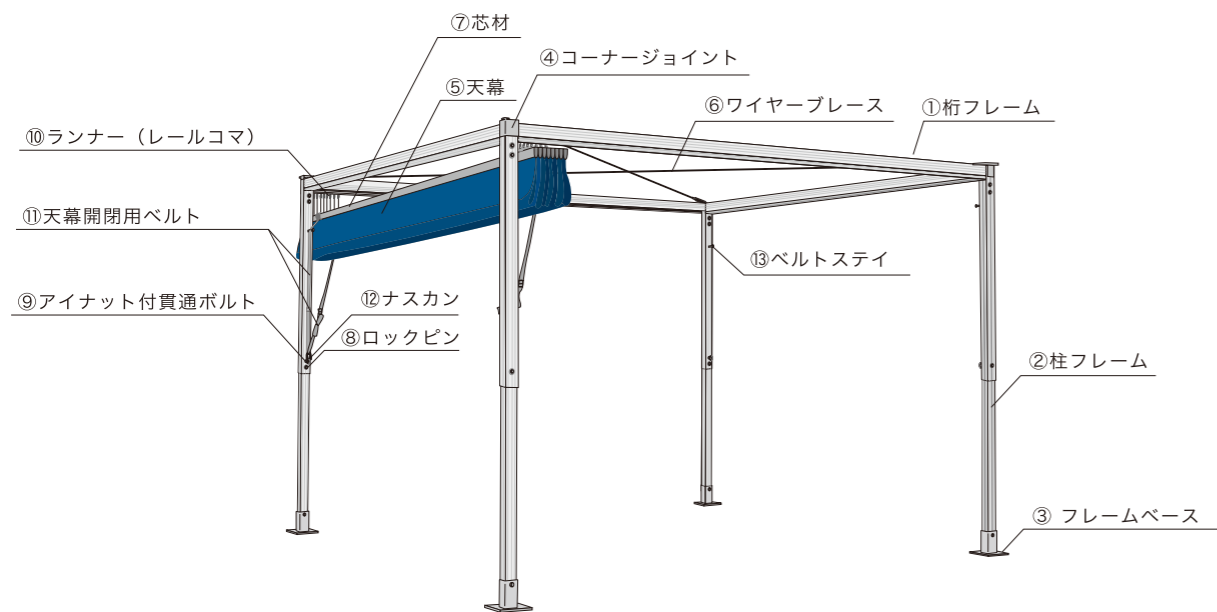
横幕上部のハトメに付属のOフックを取り付けます。天幕水下側のポケットにOフックを取り付けていきます。最後に両サイドのマジックテープを柱に固定してください。

短手側



付属のJフックを側面桁フレームのレール部に等間隔で取り付けます。差し込み、90度回転させると固定されます。そのあと、横幕上部のハトメに先ほど取り付けしたJフックに取り付けます。両サイドのマジックテープを柱に固定してください。

各部の名称



Slide Roof Tent

取扱説明書

要保管

開閉式片流れテント

梱包内容

SRT-3040 SRT-3050 SRT-3060

- 柱フレーム……………×4
- 桁フレーム……………×4
- 天幕 (芯材・吊り下げ金具付) ……×1
※ランナー付
- コーナージョイント……………×4
※柱フレームにセットされています。
- フレームベース……………×4
※柱フレームにセットされています。
- ワイヤープレース ……×2
- 天幕開閉用ベルト ……×4
- 手回しボルト ……×8



このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

<https://www.sakuracorporation.com>



株式会社 **さくら** コーポレーション

本社: 〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1 TEL0774(65)4468 FAX0774(65)4063
関東営業所: 〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4 TEL048(737)0171 FAX048(737)0181

お問い合わせ、ご用命は……

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

● シグナルマークの定義 ●



警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

使用条件

● 使用環境 ●



警告

①豪雨、強風、突風、雪などの天候不良時、またはそれが予想される場合は破損の恐れがありますので、天幕を開けて開放して下さい。また、状況に応じて、天幕を取り外すか、本体ごと撤収して下さい。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。



警告

②勾配のある場所は避け、平らな場所に設置してください。また、電線に触れない場所に設置してください。



警告

③周囲に子供や関係者以外の人がないのを確認して、フレームの組立て、解体を行ってください。

● 用途 ●



警告

①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。



警告

②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。



注意

③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊るしたりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。



注意

④テントの用途以外のご使用はしないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。

● 取扱上の注意 ●



警告

①設営時にはテントが水平・安定した状態になるように設置し、不安定な場所や滑りやすい場所には設置しないでください。設置後は必ず風対策を行ってください。別売りの「杭」、「スチールプレート」等で各テント支柱を固定し、別売りの「ラチェット付きロープ」等でしっかりと取り付けてください。別売りの重り等で固定する場合は各テント支柱を20kg以上の重りで固定してください。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがありますので十分にご注意ください。



警告

②本製品を無人で放置する場合は事前に必ず天幕は収納(端に寄せる)し、天幕開閉用ベルトで固定して、急な天候不良に備えてください。



警告

③本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。



警告

④ご使用前に、本取扱説明書をご理解いただいた上で、必ず一度組み立ててテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また、本テントの使用、保管はお客様にて管理してください。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。



警告

⑤設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。



警告

⑥設営・収納時には、ジョイント部分、ベース部分、スライド部分に手や指をはさむ恐れがありますので、必ず軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。



警告

⑦移動・設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。また、フレームを設営、撤収する際は負荷がかかりますので、無理せずゆっくり行ってください。変形や破損する恐れがあります。



注意

⑧本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指をはさむと大変危険です。取り扱いには十分にご注意ください。



注意

⑨天幕とレールを接続している箇所が外れていないか、ボルト各部やネジ、ベルト、ひも等緩みがないか毎日チェックを行い、外れている場合や緩んでいる場合はつけ直しやお手持ちの工具で締め直しを行ってください。また別売りの「スチールプレート」等をご使用の場合はずれていないかも確認してください。



注意

⑩設営後に、フレームの全てのボルトが確実に締めつけられているか、ご確認ください。

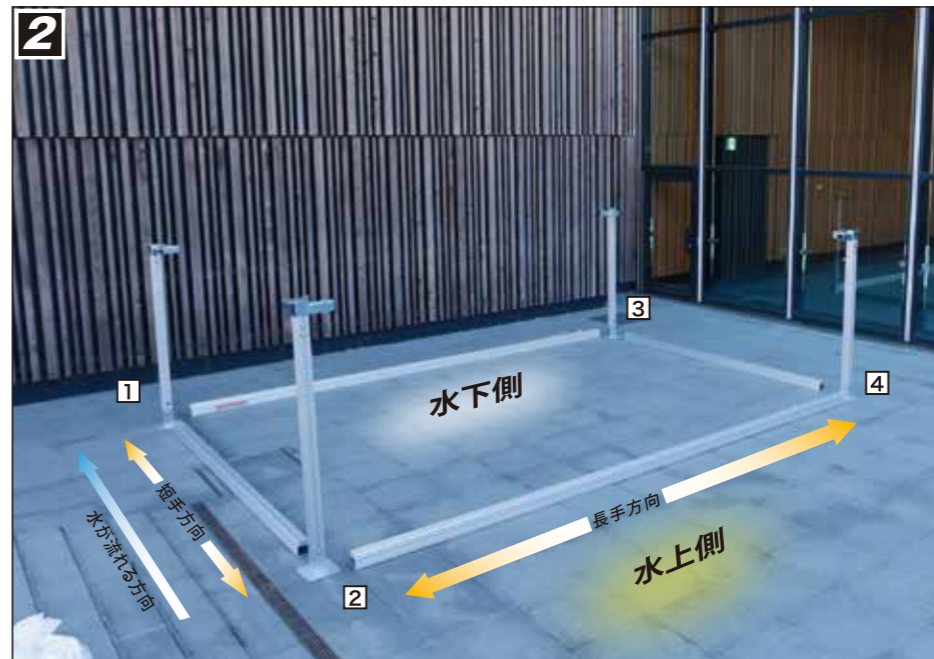
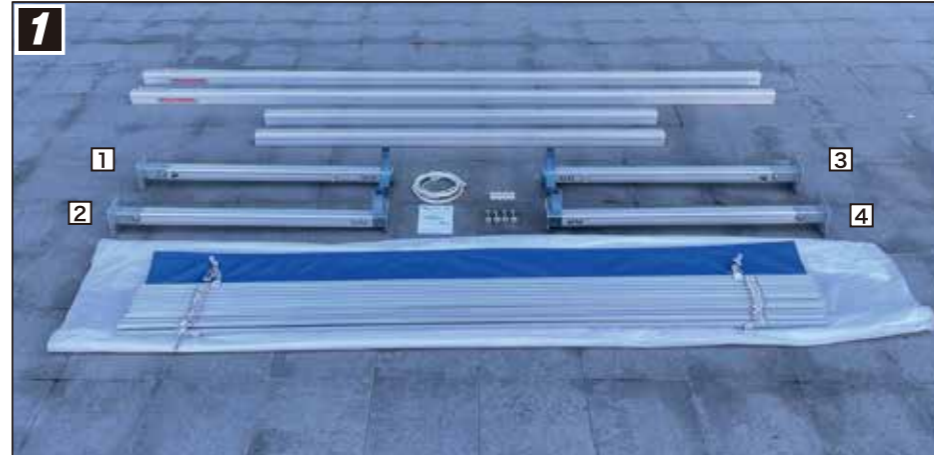


注意

⑪天幕を取り外して保管される場合は、風通しのよい場所には保管してください。湿気が多いとカビの発生の原因になります。

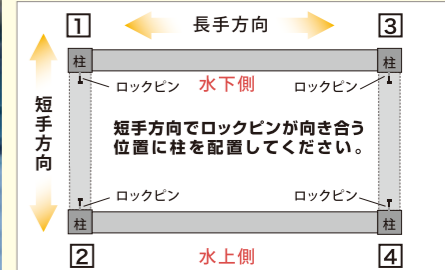
テントの組立て方法

※写真は「SRT3060」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は右面「各部の名称」を参照してください。



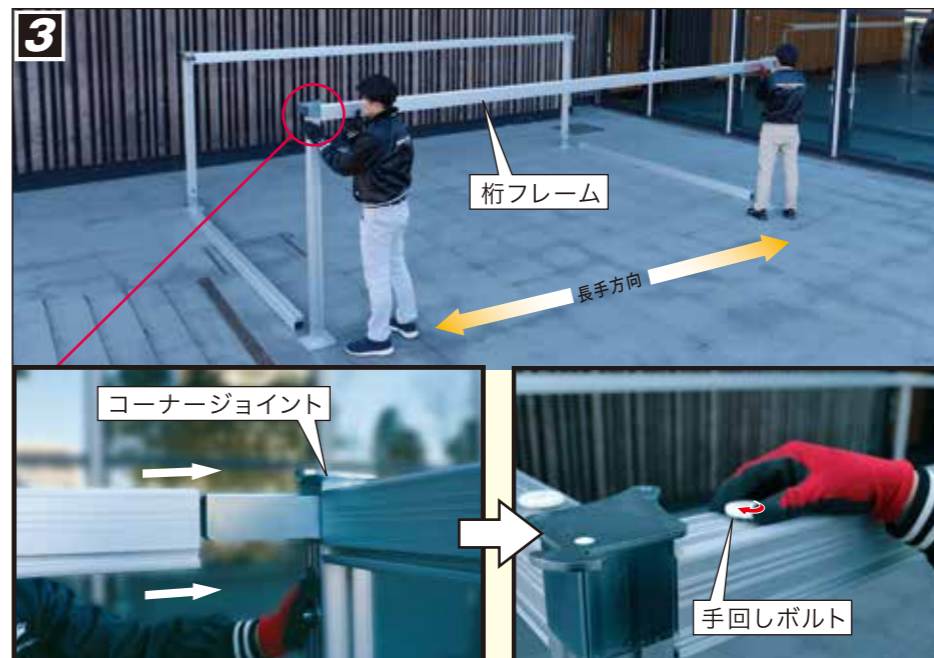
柱フレームをおおよそ、テントサイズの幅に配置します。桁フレームを間に置くと目安となります。

柱材の向きについて



注意

柱フレームの向きに注意してください。柱フレームが転倒しない様、周り・足元に十分注意し作業を行ってください。



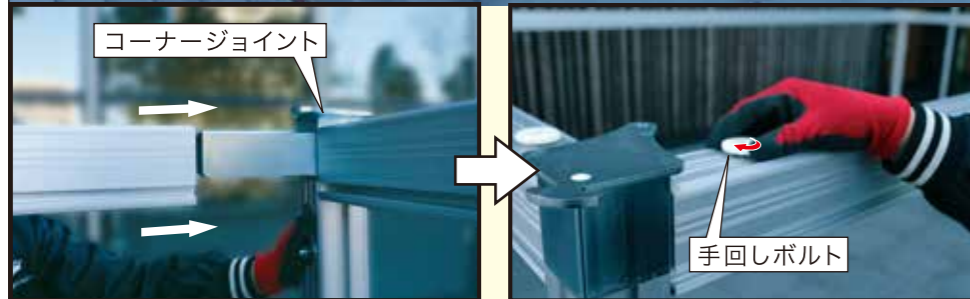
長手方向の桁フレームを柱フレーム上部のコーナージョイントに奥までしっかりと差し込みます。差し込み後、手回しボルトで固定します。

【準備】

フレームを手で押さえる必要がありますので、前もって手回しボルトを持っておいて下さい。

注意

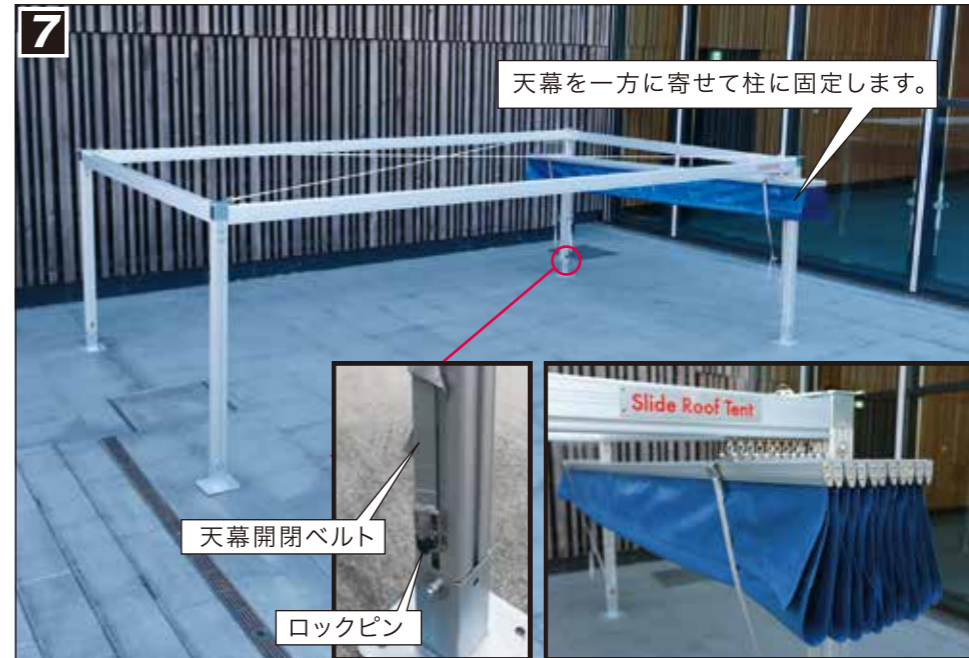
手を挟まない様、持ち手の場所に気を付けてください。片方ずつ真真正正に差し込んでください。



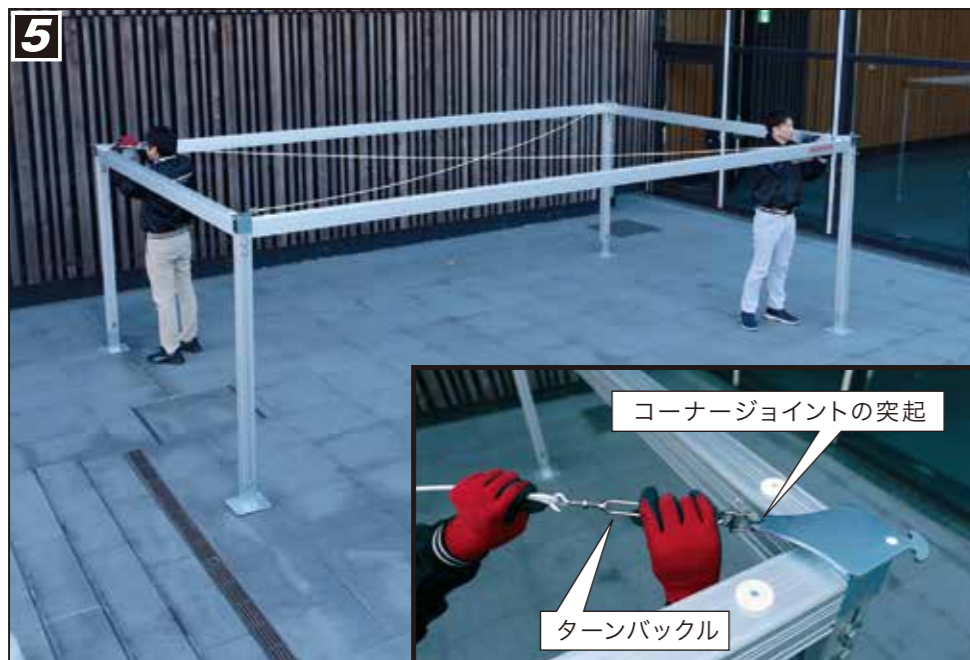
短手方向の桁フレームにコーナージョイントを片方ずつ同時に差し込みます。差し込み後、手回しボルトで固定してください。

【準備】
フレームを手で押さえる必要がありますので、前もって手回しボルトを持っておいて下さい。

⚠ 注意
フレームを支えることが出来る為、4人で差し込みを推奨します。

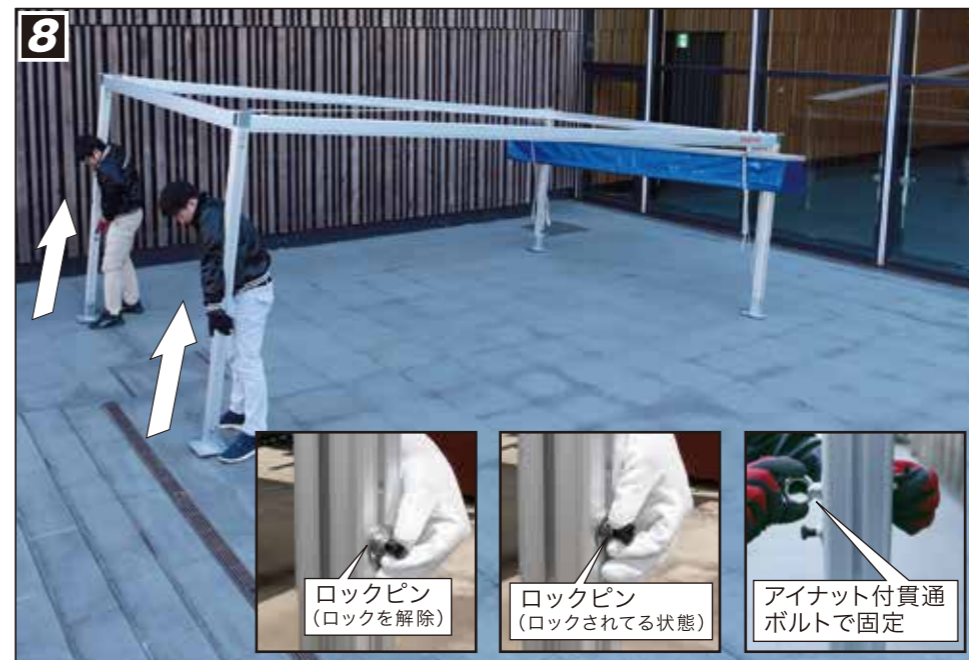


次の作業に向け天幕を一方に寄せ、天幕開閉用ベルトを柱のロックピンに仮止めし、柱に固定します。



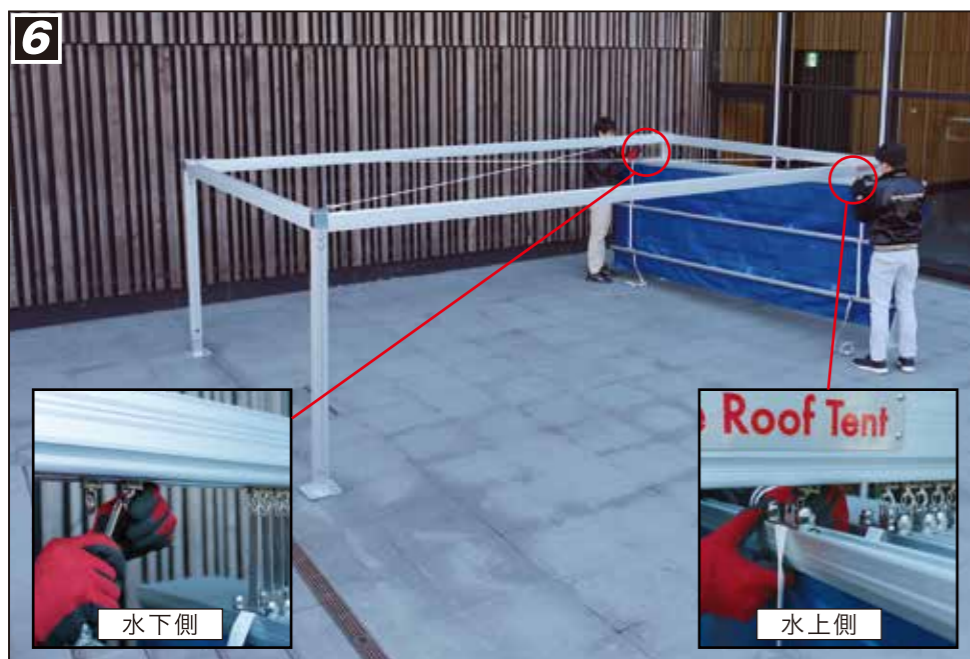
フレームに安定用のワイヤーブレースを取り付けます。はじめに、ターンバックルなしのワイヤーブレースをコーナージョイントの突起に対角に掛けてください。その後、ターンバックルありのワイヤーブレースを同じように取付け、ターンバックルで張りを調整してください。

⚠ 注意
ワイヤーブレースの上下に気を付けてください。スパナなどがあればしっかりと締め付けることが出来ます。



柱フレームのアイナット付貫通ボルトを外した上でロックピンを引き、柱フレームを持ち上げます。柱フレームが上にスライドし始めたらロックピンを離します。再びロックピンが止まる位置までゆっくりと柱を伸ばします。伸ばし終わったらアイナット付貫通ボルトで固定します。

⚠ 注意
柱の伸ばす位置は短い面側の2本、同じタイミングで伸ばしてください。



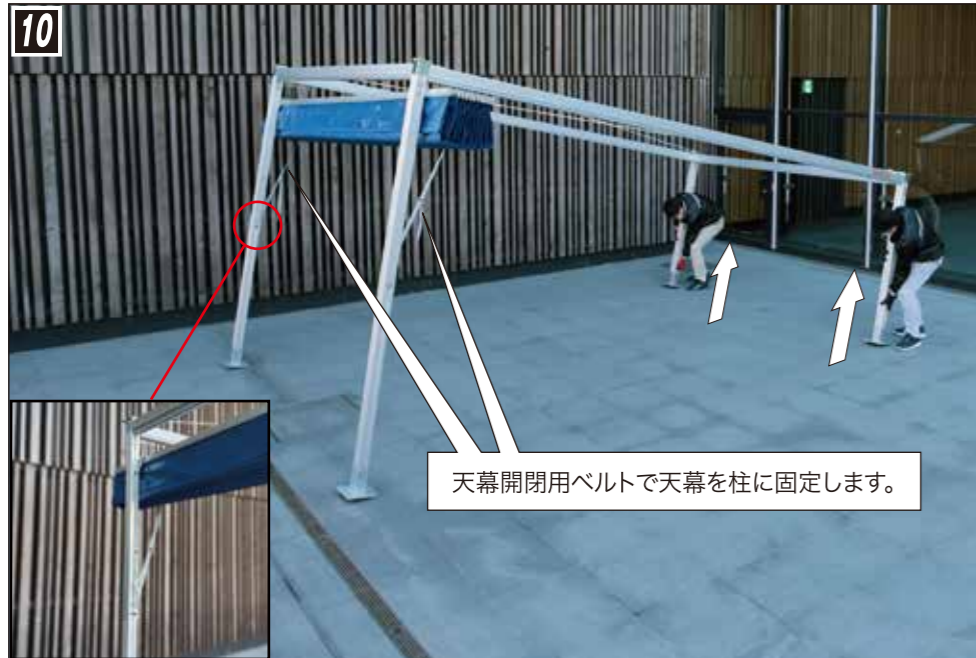
天幕はレールに付いているランナーに取り付けます。ランナーの奥から順に流すように、ひとつずつ作業を行ってください。

⚠ 注意
ランナーと芯材の間の吊り下げ金具が長い方へ雨が流れます。



片側の柱フレームを伸ばしたら、逆の柱を伸ばすため、天幕を伸ばし終わった柱側へ移動させ固定します。

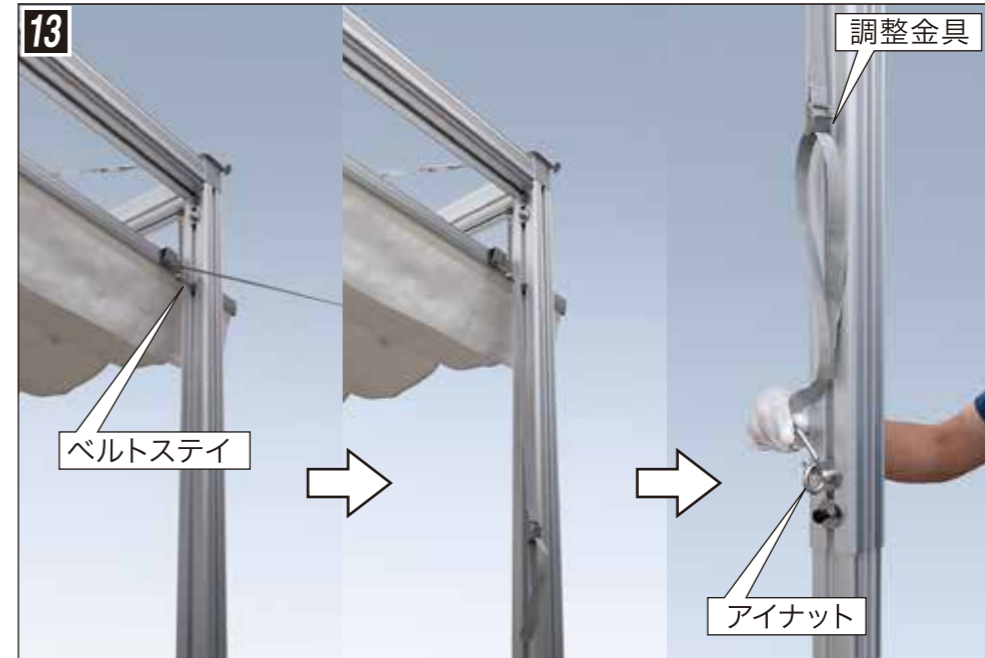
⚠ 注意
天幕が伸ばそうとする柱側にあると、持ち上げ時にスライドしたり、重量により伸ばしにくい場合がございます。



天幕開閉用ベルトで天幕を柱に固定します。

準備が整えばもう一方の柱も先ほどと同じ要領で伸ばします。

注意
天幕が伸ばそうとする柱側にあると、持ち上げ時にスライドしたり、重量により伸ばしにくい場合がございます。



ベルトステイ

アイナット

調整金具
天幕の固定は天幕開閉用ベルトを「ベルトステイ」に引っかけた上で、柱のアイナットに固定します。天幕開閉用ベルトの調節金具で張り具合を調整してください。



アイナット付貫通ボルトで固定

伸ばし終わったらアイナット付貫通ボルトで固定します。別売りの風対策用品「スチールプレート」がある場合は、フレームベースに設置していきます。別売りの杭を使用する場合はハンマー等でフレームベースの穴を利用して打ち込んでください。



天幕の開閉を行いスムーズに作動するか確認しましょう。天幕の開閉は大人2人で両端の天幕開閉用ベルトを持ち、移動することで開閉します。



天幕展開時

天幕収納時

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？ ※なお、緩みがある場合は工具等で絞めなおしてください
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか？

テントを固定する



スチールプレート

別売りの杭でベースを固定したり、地面が硬く杭などが使用できない場合は別売りの「スチールプレート」をご購入頂き、くぼみを柱に沿って設置します。「スチールプレート」は重ね置きも可能です。

警告 強風などに煽られ、固定した杭やラチェット付きロープ、ウェイトが外れてしまい事故が起こる恐れがあります。風対策用のウェイトを併用した場合でも過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性のある時は、テントの使用を中止してください。